

2023年度第3回理事会報告

開催日時:2023年10月13日(金) 15:00~17:00

開催場所:吉祥寺ホテルエクセル東急7階フォレスト(東京都武蔵野市吉祥寺本町2丁目4番14号)

I. 会長挨拶

定刻となり、空閑浩人会長より挨拶があった。

II. 理事会開会宣言(欠席理事の確認)

定款第42条に基づいて空閑会長が議長となり、出席理事および欠席理事を確認した。定款第43条に規定されている要件を充足したため、「2023年度第3回理事会」を開催するとの宣言があった。なお、定款第47条に則り、議事録署名人として空閑会長、大島監事、岡部監事を選出した。

III. 審議事項

第1号議案 入会審査

総務担当木下理事より、回覧資料に基づき説明があった。審議の結果、17名全員の入会が満場一致で承認された。

第2号議案 学会賞審査委員の委嘱について(理事会ML審議済)

総務担当木下理事より、次期学会賞審査委員の委嘱について説明があり、審議の結果、継続委員4名および新規委員5名の計9名に委員委嘱をすることが満場一致で承認された。

第3号議案 「一般社団法人日本社会福祉学会旅費規程」の改定について

財務担当室田理事より、一般社団法人日本社会福祉学会旅費規程の宿泊費について、世情に沿った適正な宿泊上限額へ改正する案が提議され、審議の結果、満場一致で承認された。

第4号議案 「一般社団法人日本社会福祉学会謝金支払い内規」の改定について

財務担当室田理事より、翻訳謝金およびネイティブチェック謝金の金額設定が据え置きとなっていることから、増額の方針で見直しの検討を進めることが提議された。審議の結果、今期役員の任期中に「一般社団法人日本社会福祉学会謝金支払い内規」を改定することが満場一致で承認された。

第5号議案 「一般社団法人日本社会福祉学会名誉会員規程」の改定について

一般社団法人日本社会福祉学会名誉会員規程にて「全国大会への参加費が免除される。」と規定されているが、総務担当木下理事より、その適用範囲を地域ブロック主催の研究大会等にまで拡大する案が提議された。事前に各地域ブロックで検討を行い、異論がなかったことを確認した。審議の結果、適用範囲を拡大することが満場一致で承認された。なお、本規程の変更は総会での決議を

経る必要があるため、2024年度定時社員総会に上申予定である。

第6号議案 中国・四国地域ブロック役員任期終了について

杉山理事より、中国・四国地域ブロック研究担当（第54回大会担当）の任務終了により、その任を解くことが提議され、審議した結果、満場一致で承認された。

第7号議案 2025年度秋季大会開催校について

空閑会長より、2025年度（第73回）秋季大会の開催校を同志社大学に依頼したとの説明があり、審議の結果、満場一致で承認された。

第8号議案 後援を承諾した団体からの情宣協力依頼について

総務担当木下理事より、他団体からの情宣協力依頼については「他団体からの広報協力依頼への対応に関する申し合わせ事項」に基づいて対応をしているが、より柔軟に対応できるよう、申し合わせ事項を一部加筆する案が提議された。審議の結果、満場一致で承認された。

第9号議案 その他（Zoom契約更新について／フォーム作成ツールの導入等）

・Zoom契約更新

総務担当木下理事より、NECネットエスアイを代理店としたライセンス契約を更新することが提議され、審議の結果、満場一致で承認された。

・フォーム作成ツールの導入について

財務担当室田理事より、各申請手続きにおいて、WEB上で手続き可能な申請フォームを導入する案が提議された。費用等も含めて審議した結果、まずは一年間導入することが満場一致で承認された。

IV. 報告事項

1. 2023年度会員動向

総務担当木下理事より、2023年度の会員動向について配付資料に基づき報告があった。

2. 第8期代議員選挙管理委員会からの報告

選挙管理委員会担当木下理事より、第8期代議員選挙の準備状況について配付資料に基づき報告があった。

3. 全国大会運営委員会からの報告

研究担当伊藤理事より、各行事の準備状況等について報告があり、その後、行事ごとにそれぞれ担当理事から詳細な説明があった。

4. 機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集担当坪理事より、機関誌『社会福祉学』の論文投稿受付・審査および編集状況について報告があった。現在、次期査読委員の諾否確認を行っている。

5. 国際学術交流促進委員会からの報告

国際学術交流促進委員会担当の金子副会長より、本理事会後に予定されている日中韓三か国代表者会談および懇親会について、また、第71回秋季大会で開催される留学生と国際比較研究のためのワークショップおよび国際学術シンポジウムの準備状況について説明があった。

6. 学会賞審査委員会からの報告

学会賞審査委員会担当杉山理事より、10月14日(土)に第71回秋季大会開会式に引き続いて執り行われる学会賞授賞式について説明があった。

7. 研究倫理委員会からの報告

研究倫理委員会担当村山理事より、現在進行中の調査案件はないとの報告があった。

8. 広報委員会からの報告

広報委員会担当岩永理事にかわり総務担当木下理事より、学会ホームページの更新および多言語翻訳を行い、定期的に広報活動を行っているとの報告があった。

9. アーカイブ化推進委員会からの報告

アーカイブ化推進委員会担当元村理事より、学会史資料調査の第2弾を9月2日(土)―3日(日)に実施したとの報告があった。文書毎の保管期限の設定や永久保存の定義等について、検討する必要があることを確認した。

10. 研究支援委員会からの報告

研究支援委員会担当高良理事より、第71回秋季大会で実施予定のスタートアップ・シンポジウムの準備状況および当日のプログラム等を確認した。CS-NETサロンの第4回は関西地域ブロックの若手研究者・院生情報交換会と協力して対面での開催を検討している。

11. 学会のあり方検討会からの報告

総務担当木下理事より、2024年5月の定時社員総会で学会のあり方検討会からの報告をするため、3月の理事会までに報告書を作成し、提案できるスケジュールで作業を進めていく予定であるとの報告があった。

12. 地域ブロックからの報告

- ・北海道地域ブロック: 前回理事会以降、報告事項は特になし。
- ・東北地域ブロック: 前回理事会以降、報告事項は特になし。

- ・関東地域ブロック：2024年3月17日（日）に2023年度研究大会「女性支援と社会福祉学—婦人保護から総合的支援への転換」をオンライン開催する予定である。
- ・中部地域ブロック：前回理事会以降、報告事項は特になし。
- ・関西地域ブロック：前回理事会以降、報告事項は特になし。
- ・中国四国地域ブロック：第54回島根大会の午後に実施予定であったが、荒天により中止となったシンポジウムが、島根県社会福祉協議会によって開催された。
- ・九州地域ブロック：「九州社会福祉学」第20号（記念号）の特集内容・構成について、通常の投稿論文の掲載に加え、創刊に携わった方々による対談等の掲載を予定している。

13. その他（後援依頼、関連団体からの報告、他）

・後援（協賛）依頼について

総務担当木下理事より、過年度の実績があることから、3件の後援依頼に承諾したとの報告があった。

・関連団体からの報告

1) 日本社会福祉系学会連合

保正副会長より、加盟学会22団体宛に「コロナ禍における学会活動に関する調査」への協力依頼を行ったとの報告があった。後日、加盟学会に所属する会員向けの調査も実施する予定である。

2) ソーシャルケアサービス研究協議会

報告事項は特になし。

3) 社会政策関連学会協議会

杉山理事より、2024年3月に「学術の役割を考える」をテーマとし、シンポジウムの開催を検討しているとの報告があった。

4) 社会学系コンソーシアム

木下理事より、2024年3月9日（土）にシンポジウムの開催を予定しており、社会的孤立に関するテーマで検討しているとの報告があった。

5) 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会：GEAHSS（ギース）

高良理事より、9月23日（土）に運営委員会が開催され、第7期会計監事として本会より高良理事が選出されたとの報告があった。

6) 人文社会系学協会連合連絡会

木下理事より、事務局担当学会として1年が経過したため、次の担当学会へ引き継ぐ予定であるとの報告があった。

7) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟

空閑会長より、2023年12月2日(土)～12月3日(日)に第52回全国社会福祉教育セミナー2023 in 大阪を開催予定であるとの報告があった。テーマは「ポストコロナ時代のソーシャルワーク教育を考える～コロナ禍の経験からの学びと魅力ある教育の展開に向けて～」である。

議長は、議事終了を告げ、17時00分に理事会を解散した。

以上